

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立狭山工業高等学校)

目指す学校像	心豊かで確かな学力を身に付けた、地域産業を担う技術者を育成する。
--------	----------------------------------

重点目標	1 学習習慣の確立や授業改善を通じて、生徒の基礎学力を向上させる。 2 保護者と連携して、規律ある高校生活を実現するとともに、生徒一人一人を大切に生徒指導を推進する。 3 地域への情報発信や連携を通じて、地域に根ざした学校づくりを推進する。 4 キャリア教育の充実やものづくりの技術・技能の向上、資格取得を推進し、生徒の進路希望を実現させる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					
年度目標				年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況
1	基礎学力や学習習慣が身につかずに入学者が多い。自習室の開室等により欠点保有者数は一昨年より減少したが依然として多い状況である。生徒全体が学習へ意識を向けるように欠点保有者の減少と成績優良者の増加も必要である。	自ら学ぶ姿勢を身につけさせ、基礎学力向上を図る。各教科で学期末に指導方法や評価についての改善や見直しを行う。	①自習室の開室等による学習時間の確保。 ②きめ細やかな指導で基礎学力の定着を図る。 ③教員同士の学び合いの機会を作る。	①自習室利用者数。 ①授業以外の学習の時間。 ②成績優良者数。 ②転退学者数。 ②欠点保有者数。 ③公開授業実施日数およびフィードバック。 ③学期末学年末の指導方法評価についての改善見直し。	学校全体に勉強する雰囲気が出てきた ①自習室は毎回40~50人が利用した。昨年度は全く勉強しない生徒が、35%いたが、今年度は19%、試験前は10%になった。 ②2学期の優良者は昨年より23人減少してしまったが欠点保有者が19人減少した。転退学者は1月15日の時点で2人減っている。 ③公開授業は5回実施。評価については学習評価の在り方ハンドブックを使い各科で検討する。
2	基本的な生活習慣が確立してきている生徒は、増加し特別生徒指導を受けている生徒は、減少してきている。しかし長期欠席者や合理的配慮を必要とする生徒は、増えている。	保護者と連携した自己管理能力の育成。外部専門家の支援を利用した自己肯定感の向上。	①保護者と連携し、整容指導、登下校時の交通安全指導に取り組む。 ②学校行事や部活動等に積極的に取り組ませる。 ③合理的配慮を必要とする生徒への支援方法を学ぶ。	①特別生徒指導件数 ②部活動学校行事等の取り組み ③長期欠席者数 ③巡回支援員等との連携回数	数年前と比べると落ち着いている ①7件。昨年度より1件増えたが、H29と比べると半数になっている。 ②無線部、メカトロ研究部が全国大会、山岳部関東大会出場。他の部活も盛んである。 ③長欠15名。昨年度より6名減少。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、巡回支援員を10回依頼。
3	地域連携は、出前授業地域のイベント参加等をおこなっている。しかし、入学志願者増加には繋がっていないため、進路に関して大多数の生徒の希望が叶えられている実情を発信していく必要がある。	小中学校、地域との連携。本校の特色、魅力の発信。	①説明内容を十分に教員間で確認してから中学校訪問を行う。 ②狭紅茶、進路実績、資格取得、地域へのイベント参加等、本校の特色、魅力等をホームページを利用して発信する。	①学校説明会体験入学等の参加者数。 ①中学校訪問数及び出前授業実施回数。 ②地域活動参加生徒数。 ②ホームページのアクセス数。(5/7、414636) ①②入学志願者数。	情報発信は行っているが、志願者増に繋がっていない ①延べ650名。昨年度より170名増。中学校訪問85校、出前授業9回実施。説明会は8回実施。昨年度は4回。 ②34のイベントに延べ263人の生徒が参加。ホームページは1/18の時点で792957、約38万件の閲覧があった。12月調査の時点での入学志願者は昨年並み。
4	進路決定率は高い水準を維持している。工業高校として、より高度な技術技能を身につけ専門性を活かす進路実現を目指す必要がある。	技術、技能の向上。希望進路の実現。	①外部と連携したキャリア教育の推進。 ②課題研究の充実や授業以外の活動等で、生徒の技術技能の向上に取り組む。 ③生徒一人一人の興味適性に合った進路選択と、就職試験、入学試験に向けた指導を組織的に取り組む。	①工場見学や社会人講師招聘実績、インターンシップの実績。 ②資格取得者数。 ③就職内定率。 ③大学合格者数。 ③第一志望決定率。	進路に関しては高水準を維持している。 ①工場見学は1学年が3月に実施。社会人講師と共に指導に当たり技能検定2,3級に合格。インターンシップに16人参加。昨年度は7人。 ②資格取得者は電気工事士、技能検定2,3級で昨年度より増加した。 ③就職内定率100%、第1希望での内定率90%、大学合格22人。

学校関係者評価	
実施日	令和2年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
生徒アンケートからもスマートフォンの使用時間が長いことが分かる。とても便利なものであるが、しっかりと時間管理をしてほしい。	
特別指導件数が減り、文化祭等でも生徒一人ひとりが楽しく参加しているように見える。とても落ち着いている学校になったと実感する。学校がいつもきれいで、挨拶もきちんと出来ている。努力や意識があるから継続できているのだから感じている。引き続き頑張ってもらいたい。	
中学生やその保護者、地域の方に来校していただき、文化祭等で生徒が活動しているところを見ることが、学校の評価や、魅力ある学校であることをアピールすることに繋がると思う。自治会が主催している防災訓練に、参加・協力をしてほしい。	
資格試験の募集期間や申し込みのメ切を、保護者にも伝えてもらえると、家庭でも指導が行える。中学校が進路指導をする際に、『就職率の高さ』を狭山工業高校を勧めるキーワードにしている。これからはもっとアピールしてほしい。	